

第139回京都市中小企業経営動向実態調査

貴社の概要を御記入ください。(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名							
経営形態	法人・個人	資本金			万円	電話	—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成・令和) 年				従業員数	人 (うち非正規人) ※2	
※1 業種	製造業： A 西陣・B 染色・C 印刷・D 窯業・E 化学・F 金属・G 機械・H その他の製造						
	非製造業： I 卸売・J 小売・K 情報通信・L 飲食店、宿泊・M サービス・N 建設						
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 10%以上25%未満 4 0%超10%未満 5 なし 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。						
主な製品、商品、サービス							
御記入者	部課：		役職：		氏名：		

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 貴社の経営状況についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期 間			令和3年7月～9月の予想 (令和3年4月～6月期と比較して)			
	令和3年4月～6月の実績 (前年の同期と比較して)			上 昇	不 変	下 降	
貴社の業況	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
生産加工量・販売量	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	
経常利益(税引前)	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	
製品・加工単価、販売単価	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
仕入単価	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
製品・商品在庫量	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足	
雇 用 人 員	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足	
資 金 繰 り	楽	普 通	苦	楽	普 通	苦	
同業他社との競争	激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和	
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い	す る	し な い		

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(令和3年4月～6月の実績)
(令和3年7月～9月の予想)

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- 営業力の強化(顧客・市場開拓)
- 生産・経営の合理化
- 人材確保・育成
- 新規産業分野への進出
- 自社ブランドの育成
- 新商品の開発・販売
- 研究開発体制の強化
- 情報収集・分析力の強化
- その他()

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- 競争激化
- 売上不振
- 人材育成
- 値下要請
- 仕入値上要請
- 原材料(特に)価格上昇
- 金利上昇
- 販売価格安
- 技術力不足
- 後継者問題
- 人手不足
- 人件費増加
- 為替動向
- その他()

(5) 新型コロナウイルス感染症による4・5月の売上の減少についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

- 4月(前年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加
(前々年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加
5月(前年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加
(前々年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加

(裏面以降も御記入ください。)

【付 帯 調 査】デジタル化に関する取組について

(6) 貴社の IT ツールの導入状況についてお尋ねします。

A. 業務に IT ツールを導入していますか。該当するものに○印を付けてください。

1. 活用している	2. 活用していない
-----------	------------

B. (上記Aで「2. 活用していない」を選んだ方のみ)業務に IT ツールを導入していない理由をお尋ねします。(該当するものに全て○印)

1. IT を使いこなせる人材がいない	2. 導入効果が分からない
3. コストが負担できない	4. 適切なアドバイザーがいない
5. 経営者・管理者の意識	6. 個人情報漏えいの恐れがある
7. 技術・ノウハウ流出の恐れがある	8. 何から手を付けていいか分からない
9. IT を活用するつもりはない	

C. (上記Aで「1. 活用している」を選んだ方のみ)どのような業務に IT ツールを導入していますか。導入方法と併せてお答えください。(該当するものに全て○印)

グループウェア	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
財務・会計	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
人事・給与	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
販売	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
調達・仕入	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
社内の情報共有	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
生産	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
開発・設計	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
物流	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
カスタマーサポート	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他
テレワーク・リモートワーク	1. 情報端末	2. パッケージソフト	3. 自社開発	4. クラウド	5. 未導入	6. その他

(7) 貴社のデジタル化に関する将来的な取組についてお尋ねします。

A. 今後、デジタル技術を活用した新製品・新サービスや新たなビジネスモデルの構築に関心はありますか。(該当するものに一つだけ○印)

1. ある	2. ない	3. 分からない	4. その他()
-------	-------	----------	-----------

B. 上記Aに取り組むうえで、課題となっていることはありますか。(該当するものに全て○印)

1. IT を使いこなせる人材がいない	2. 導入効果が分からない
3. コストが負担できない	4. 適切なアドバイザーがいない
5. 経営者・管理者の意識	6. 個人情報漏えいの恐れがある
7. 技術・ノウハウ流出の恐れがある	8. 何から手を付けていいか分からない

C. 貴社に IT 担当者はいますか。(該当するものに一つだけ○印)

1. いる(専任)	2. いる(兼任)	3. いない	4. その他()
-----------	-----------	--------	-----------

D. 上記Aに取り組むうえで、必要と思われる支援は何ですか。(該当するものに全て○印)

1. 補助金	2. 専門家派遣	3. 相談窓口	4. その他()
--------	----------	---------	-----------

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
 当調査票は、同封の返信用封筒、もしくは業務委託先の(株)東京商エリサーチ京都支店(FAX:211-4788)にご返送願います。
 なお、内容についてのお問い合わせは、京都市役所 産業観光局(TEL:222-3371)まで、お願いいたします。